

# Europe Indicators

発表日:2020年2月21日(金)

## 欧州経済指標コメント:2月ユーロ圏PMI速報

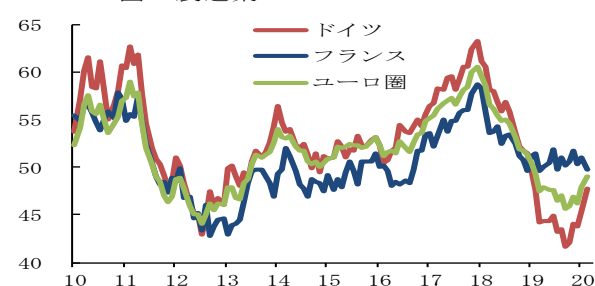
～新型コロナウイルスの影響は軽微?それともこれから顕在化?～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

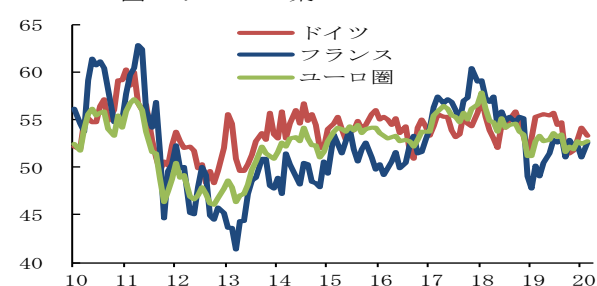
- 2月のユーロ圏の総合PMIの速報値は前月から0.3ポイント改善の51.6。3ヶ月連続で改善モメンタムが加速し、昨年8月以来の水準に上昇した。18日発表されたドイツのZEW景況感が1月: +26.7→2月: +8.7に鈍化。米中貿易戦争やブレグジットの不安後退で改善した市場参加者の先行きの業況判断は、新型コロナウイルスの感染拡大により再びブレーキが掛かっていた。企業を対象としたPMIにどの程度の影響が広がるかが注目されたが、業況判断はさらに上向き、新型コロナウイルスが今のところ企業心理改善の大きな重石とはなっていないことが確認された。
- 国別・業種別には、ドイツで製造業の悪化モメンタムが一段と弱まった一方、過去4ヶ月モメンタムが加速していたサービス業の改善が一服。フランスの製造業が7ヶ月振りに好不況の分岐点である50割れを記録した一方、年金改革に反対するストライキの影響などで一進一退の推移を続けていたサービス業が反発した。ここから逆算して、ドイツとフランスを除いたその他のユーロ圏は、製造業・サービス業ともに前月より上昇した模様。
- ユーロ圏の製造業PMIの構成項目では、生産、新規受注、雇用、中間財在庫、入荷遅延(逆数)の全5項目が前月から改善。世界景気の底入れ期待と貿易戦争の脅威後退が企業の業況改善につながっている。但し、今月の計数に新型コロナウイルスの影響が十分に反映されているかは不透明。来月以降の指数の推移とともに、感染拡大がアジア地域以外に拡大するか、欧州企業のサプライチェーンへの影響が広がるかなども注視が必要となる。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

		2019				2019					2020				
		1Q	2Q	3Q	4Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ユーロ圏	総合産出指数	51.5	51.8	51.2	50.7	51.8	52.2	51.5	51.9	50.1	50.6	50.6	50.9	51.3	51.6
	製造業購買担当者指数	49.1	47.7	46.4	46.4	47.7	47.6	46.5	47.0	45.7	45.9	46.9	46.3	47.9	49.1
	サービス業業況指数	52.4	53.1	52.8	52.3	52.9	53.6	53.2	53.5	51.6	52.2	51.9	52.8	52.5	52.8
ドイツ	総合産出指数	52.1	52.5	50.3	49.5	52.6	52.6	50.9	51.7	48.5	48.9	49.4	50.2	51.2	51.1
	製造業購買担当者指数	47.1	44.6	42.8	43.3	44.3	45.0	43.2	43.5	41.7	42.1	44.1	43.7	45.3	47.8
	サービス業業況指数	54.6	55.6	53.6	52.1	55.4	55.8	54.5	54.8	51.4	51.6	51.7	52.9	54.2	53.3
フランス	総合産出指数	49.1	51.3	51.9	52.2	51.2	52.7	51.9	52.9	50.8	52.6	52.1	52.0	51.1	51.9
	製造業購買担当者指数	50.8	50.8	50.3	50.9	50.6	51.9	49.7	51.1	50.1	50.7	51.7	50.4	51.1	49.7
	サービス業業況指数	49.0	51.7	52.4	52.5	51.5	52.9	52.6	53.4	51.1	52.9	52.2	52.4	51.0	52.6

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

